

令和6年度第2回地元協議会「会議録」

日 時：令和6年8月17日（土）10時00分～12時00分

場 所：多摩ニュータウン環境組合 201会議室

出席者（委員12名、関係者6名）

住民委員：落合自治連合会（1名）、中組自治会（1名）、唐木田自治会（2名）、
唐木田李久保自治会（1名）、町田市上小山田町内会山中地区（1名）、
ホームタウン鶴牧-6団地管理組合（1名）、
ヒルサイドタウン鶴牧-6団地管理組合（1名）

組合委員：多摩ニュータウン環境組合

（事務局長、総務課長、施設課長、計画担当課長(兼)出納課長）

関係者：管理者

町田市環境資源部

（資源循環部長、環境政策課長、循環型施設管理課長、環境政策課係長）

リサイクルセンター長

I 開会挨拶

・委員・関係者の自己紹介。事務局長挨拶。

II 施設紹介ビデオの鑑賞

・多摩清掃工場紹介ビデオを鑑賞は機材トラブルのため中止。

III 定例報告（第1部）

1 令和5年度多摩清掃工場の運営について

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) 主な事業の取り組み推移 | (5) 多摩地域ごみ処理区域支援について |
| (2) 電気設備火災の状況報告について | (6) 構成市間応援協定に基づく処理状況 |
| (3) ごみ搬入量と人口の推移 | (7) 焼却炉運転日数 |
| (4) 多摩清掃工場へのごみ搬入量 | (8) 環境測定結果 |

2 リサイクルセンター運営状況について

3 その他

- (1) 町田市処理支援ごみ搬入量の報告について
- (2) 第15回たまかんフェスタの開催について
- (3) 唐木田クリーンアップ作戦の実施予定について

IV 連絡調整（第2部）

- 1 多摩清掃工場設備老朽化対応の進捗報告について
- 2 視察研修について
- 3 能登半島地震より生じた災害廃棄物の受入れについて

V 多摩清掃工場の施設見学について

・施設見学を30分程度実施。

VI 閉会

<配布資料>

資料1 次第

資料2 多摩ニュータウン環境組合地元協議会設置要綱

資料3 ①令和6年度第2回地元協議会 ※スライド資料

②町田市作成のスライド資料

<司会進行 総務課長>

I 開会挨拶

事務局	多摩ニュータウン環境組合委員の紹介、関係者（管理者・町田市職員）の自己紹介、住民委員の自己紹介
管理者	阿部管理者より、挨拶等。以下抜粋。 ○私が管理者を務める日の出町にある二ツ塚処分場では焼却灰をエコセメント化することにより焼却灰を埋め立てていない。 ○多摩市にて、昨年度からペットボトルの分別ルール of 徹底を行うことにより、集められたペットボトルが透明になり、劇的にきれいになった。 ○昨年12月15日に当清掃工場における電気設備の火災においては、合計4540tものごみを構成市間の応援協定等による相互応援を行うことで乗り越えてきた。 発電機は現在、北九州で修理中である。 ○昨年11月の町田市のバイオエネルギーセンターにおける火災によりごみ処理が困難となり、当清掃工場において町田市の可燃ごみ処理支援要請に基づき、町田市の家庭系可燃ごみ等の搬入の受け入れを行い、令和5年度実績で約3520tのごみを受け入れた。 ○今年1月1日に発生した能登半島地震において、現地においてごみ処理が困難であり、東京都全体として応援支援を行うとなれば、東京都23区と多摩地域の清掃工場、能登半島のごみを受け入れるという動きもある。話が具体的に受け入れることになった際には、地域の皆様方にも説明をさせていただきたいと思っている。 ○当清掃工場における令和5年度 of 取組みとして、リチウムイオン電池による処理ラインにおける発火事故を防ぐために、火花検知システムを導入している。
事務局長	地元協議会の目的について、以下のように説明を行った。 ○多摩ニュータウン環境組合地元協議会は、令和3年度に設置された。 ○地元協議会以前は、住民報告会があり、毎年3月末に多摩清掃工場の運営などについての報告を行ってきた。 ○工場の安定的な運営が行われていることから、住民報告会を閉会し、新たに地元協議会を設置した。地元協議会では、清掃工場の老朽化による建て替えなどに関する情報提供や地域における当清掃工場の役割などについて地域の皆様方からのご意見をいただく場として、また地域住民と当清掃工場が自由に意見交換や連絡調整を行う場として考えており、地域環境の保全、住民の皆様の安心安全の確保およびごみ処理施設の円滑な運営を図ることを目的としている。 ○本地元協議会に参加される住民の方（代表者）には、本協議会での情報を地元の自治会や町内会や管理組合で報告、周知していただきたいと思っている。

Ⅱ 施設見学用ビデオ鑑賞

18 分程度の当清掃の PR 用 DVD であるが、機器の不具合により、本編の鑑賞は中止となった。

Ⅲ 定例報告（第 1 部）

事務局長	<資料 3-①（スライド資料）に基づき報告> 令和 5 年度の報告 「1 多摩清掃工場の運営について」 ○スライド 6～スライド 13 まで使って、説明を行った。
施設課長	<資料 3-①（スライド資料）に基づき報告> 令和 5 年度の報告 「1 多摩清掃工場の運営について」 ○スライド 14～スライド 32 まで使って、説明を行った。
センター 長	<資料 3-①（スライド資料）に基づき報告> 令和 5 年度の報告 「2 リサイクルセンターの運営について」 ○スライド 33 を使って、説明を行った。
総務課長	<資料 3-①（スライド資料）に基づき報告> 令和 5 年度の報告 「3 その他」（1）町田市処理支援ごみ搬入量の報告について ○スライド 34 を使って、説明を行った。
町 田 市 環境資源 部 長	○町田市が処理しきれないごみを令和 4 年度から多摩清掃工場に処理を依頼している。また、令和 5 年 11 月のバイオガス化施設での火災を受けて、依頼量が増えた。 ○バイオガス化施設は、可燃ごみから、生ごみを分離して処理してガス化することにより発電するという施設である。火災の原因としては、可燃ごみにリチウムイオン電池が混入していたことが原因だろうと推定している。 ○被害状況としては、生ごみを分離する設備とごみを運ぶベルトコンベアが全て損傷し、使えなくなってしまった。現在新しい設備を作り変えている状況だが、令和 7 年 3 月頃に設置が完了するという状況である。そのため、場合によっては、令和 7 年 6 月頃まで、多摩清掃工場にごみ処理の応援をお願いするような状況となっているので、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。
町 田 市 環境政策 課 長	<資料 3-②（スライド資料）に基づき報告> ○町田市のごみ減量・資源化の進捗状況（ごみ量の状況、ごみ減量・資源化の取組状況、資源ごみ処理施設の整備状況と暫定処理方針、今後の見込）について ○町田市作成のスライドを使って、説明を行った。
総務課長	<資料 3-①（スライド資料）に基づき報告> 令和 5 年度の報告 「3 その他」 （2）第 15 回たまかんフェスタの開催について （3）唐木田クリーンアップ作戦の実施予定 ○スライド 35～スライド 36 を使って、説明を行った。

	【質疑応答・答申】
中組自治会	○町田市の取組みはわかったが、多摩市の今後のごみ減量の取組みについて教えてほしい。
管 理 者	○本日、所管である環境部の資源循環推進課が同席していないので、私の方から説明しますが、多摩市でもごみ減量の計画を立てており、燃えるゴミ、燃えないゴミ。特に燃えないゴミについて、昨年より重点的に取り組みを行っている。 ○ごみ処理量は、多摩市においても年々減ってきており、行政側が想定していた量よりかなり減ってきている。 ○多摩清掃工場の建て替え等にあたり、八王子市や町田市と連携しながら、今後どのような規模の清掃工場としていくのか検討を行っていく。
ホームタウン鶴牧 - 6 団地 管理組合	○本日は丁寧な説明をありがとうございます。質疑質問ではないが、以下、意見を述べたい。 ○管理組合の理事長は毎年交代されるので、住民側の知識を保つなど継続的な協力活動体制を築くのはなかなか難しい状況である。 ○ISO14001 の適切な運用の箇所、環境方針の改定で、衛生環境を前に打ち出してくれたのは、地域としては非常によいと思う。 ○事故については、ごみピットではなく、電気設備の火災ということで驚いた。設備の老朽化対応を含めて、品質管理や国内で生産が停止されており部品の調達が難しいことなどあると考えられるので、今策定している工場設備更新においては、費用をケチらずに、必要な費用をきちんとかけて進めてほしいと考える。 ○また、想定外のことが発生した時にセーフティネットを作るというのも、ソフトウェア面で重要だと感じたので、引き続きよろしくをお願いしたい。 ○団地においては、高齢者が分別をわからずごみを出してしまうことや、住民が往復するのが大変なのでまとめてごみを出してしまうことなどがある。そのため、ごみ袋を破って中身を検査する装置を導入するなども検討して欲しいと考える。
管 理 者	○設備の老朽化については、全国の清掃工場含めてあらゆる工場で見られていることであり、問題である。 ○変圧器というのは、既製品があるものではない。当清掃工場においては、稼働当時に設置し未使用の幻の変圧器があったおかげで、12月の事故をうけて、2月には復旧できたことは不幸中の幸いであった。 ○また、ピットについても、設置されなかった幻の1号焼却炉分のごみを受け入れられるように、元々の設計で大きめに作っていたので、多くのごみを吸収することができた。ピットが大きいということは無駄ではないと感じた。想定外のことが起きることも考慮して、次期の清掃工場建て替えの時にも、あまりケチらずに設計することも大事だと考える。 ○リチウムイオン電池が様々な電子機器に使われており、分別廃棄を啓発していくことが地域の安心安全のためにも重要であると考えます。
総務課長	○公務の関係で、管理者は、定例報告（第1部）終了にて、退席させていただきます。

<管理者退出>

IV 連絡調整（第2部）

計画担当 課 長	<資料3-①（スライド資料）に基づき報告> 「1. 多摩清掃工場施設老朽化対応の進捗状況の報告について」 ○スライド39～スライド40まで使って、説明を行った。 「2. 視察研修について」 ○スライド41～スライド43まで使って、説明を行った。 なお、視察研修は協議会委員でなくても参加できますので、皆さまお誘いのうえ、奮ってご参加いただければと思います。今年度の視察について、詳しいご案内・募集等は1月頃に行う予定です。
総務課長	<資料3-①（スライド資料）に基づき報告> 「3. 能登半島地震により生じた災害廃棄物の受入れについて」 ○スライド44を使って、説明を行った。 地域の安全安心を考慮の上、今後、受け入れ時期や量など詳細を調整していきます。 受入れが正式に決まったら、案内をさせていただくので、ご協力をお願いします。
	【質疑応答・答申】なし

V 工場見学

見学行程

見学者説明室前⇒分析室前⇒中央制御室前⇒発電機室⇒ごみクレーン操作室

（閉会時刻 12時00分）